

北星学園大学 教職履修カルテ

学籍番号			
ふりがな			
氏 名			
所 属	学部		学科
在籍期間	年 4 月 入学	年 3 月	卒業(予定)
希望免許	中社・公民・特支		

履修カルテについて

教職課程の履修者が自己の学習をふりかえるため、教職科目の修得時から教員免許状を取得して卒業するまでカルテを記入します。

履修カルテの提出がない場合、「教職実践演習」の履修は認められないので、十分注意してください。

履修カルテの内容

1. 66 条の 6 に定める科目
- 2－1～5. 教育の基礎的理解に関する科目等
- 3－1～8. 教科に関する専門的事項
- 4－1～4. 特別支援教育に関する科目
5. 介護等体験
6. 教育実習
7. 障害児教育実習
8. 教育実習・障害児教育実習・教職実践演習担当教員評価欄
9. 教職関係ボランティア活動等
10. 自己評価

履修カルテの使用法

- ・ 表紙の各欄を記入し、「希望免許」欄の希望免許種を○で囲みます。
- ・ 上記「履修カルテの内容」の「8.教育実習・障害児教育実習・教職実践演習担当教員評価欄」をのぞく 9 項目について記入して印刷します。
- ・ 2 年次オリエンテーション(毎年 4 月)で配布されたファイルに履修カルテを綴じます。
- ・ データで保管したい場合、教職部門のHPから「教職履修カルテ様式.doc」をダウンロードします。
→<http://www.ipc.hokusei.ac.jp/kyousyoku/>

履修カルテの提出方法

「3 年次・教育実習事前指導」(教育実習に行く前年度の 11 月末)で一度提出します。



教員が内容を確認後、学生へ一旦返却します。



「教職実践演習」(4 年次後期)の初回授業時に再度提出します。
(この授業内で活用することになります。)



「教職実践演習」(4 年次後期)の最終授業終了後に返却します。

履修カルテ【記入方法・記入例】

1. 「66 条の 6 に定める科目」

2. 「教育の基礎的理解に関する科目等」

3. 「教科に関する専門的事項」

4. 「特別支援教育に関する科目」

- ◆ 修得科目について、「単位数」、「修得年度」、「教員名」、「成績評価」、「学習成果の分析」を記入します。
- ◆ 記入するのは修得した科目のみです。未修得の科目について記入する必要はありません。
- ◆ 「教科に関する科目」は免許種類・教科別に記入します。
- ◆ 複数免許の重複科目は「教員免許状種類・教科」欄に複数免許種類・教科について記入します。
- ◆ 「教科に関する科目」で科目数が多い場合、必要な分の欄を各自で追加してください。

2-1. 教職に関する科目

(記入例)

法令上の 区分	科目名称	単 位 数	修 得 年 度	教員名	成 績 評 価	学習成果の分析	備考
教職の意義等に関する科目	教職入門(A)	2	2011	北星花子	10	○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○ ○○○…… (100 字程度)	必修

5. 「介護等体験」

- ◆ 「介護等体験に関すること」＝介護等体験の終了後に記入します。
- ◆ 「課題」＝介護等体験で認識した自己の課題について記入します。

6. 「教育実習」

7. 「障害児教育実習」

- ◆ 「教育実習に関すること」＝実習予定校の決定後に実習校名などを記入します。
- ◆ 「実習の成果と課題」＝教育実習の終了後に記入します。

8. 「教育実習・障害児教育実習・教職実践演習担当教員評価欄」

- ◆ この欄は教員が記入します。

9. 「教職関係ボランティア活動等」

- ◆ 学校ボランティアや学習支援員、部活動の指導などの活動について記入します。

9. 教職関係ボランティア活動等

(記入例)

活動名称	活動	場所	活動内容	活動の成果
札幌市教育委員会によるボランティア	○年 4 月 1 日 ~ ○年 3 月 31 日	○○小学校	○○が苦手な生徒に対して、教員の指導のもと、授業補助を行った。	○○○○○○○○○○○ ○○…

10. 「自己評価」

- ◆ 教職課程の学習成果をもとに、項目別に自己評価を試みます（該当する数字を記入します）。
- ◆ 1 年次終了時、2 年次終了時、3 年次終了時に自己評価を行います。

1. 66 条の 6 に定める科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
日本国憲法	日本国憲法						必修
体育	体育実技 I						必修
外国語コミュニケーション	() I						必修
情報機器の操作	情報入門						必修

2-1. 教育の基礎的理解に関する科目等 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教職入門						必修
	教育学						必修
	教育心理学						必修
	特別支援教育概論						必修
	教育行政論						必修

2-2. 教職に関する科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育史						選択
	教育社会学						選択
教科の指導法に関する専門的事項	[]科 教育法 ()						各教科の指導法
	[]科 教育法 ()						各教科の指導法
	[]科 教育法 ()						各教科の指導法

2-3. 教育の基礎的理解に関する科目等 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
教科の指導法に関する専門的事項	[]科 教育法 ()						各教科の指導法
	[]科 教育法 ()						各教科の指導法
	[]科 教育法 ()						各教科の指導法
	[]科 教育実践指導 ()						中学校希望者のみ必修
	[]科 教育実践指導 ()						中学校希望者のみ必修

2-4. 教育の基礎的理解に関する科目等 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践						中学校希望者のみ必修
	特別活動・総合的な学習時間の指導法						必修
	教育方法・情報通信技術論						必修
	生徒・進路指導の理論と実践						必修
	教育相談論						必修

2-5. 教育の基礎的理解に関する科目等 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分	科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
教育実習	教育実習事前 事後指導 教育実習 Ⅰ / Ⅱ						必修 教育実習 Ⅰ・Ⅱは いずれか 選択必修
教職実践 演習	教職実践演習						必修

3-1. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-2. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-3. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-4. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-5. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-6. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-7. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

3-8. 教科に関する専門的事項 ※修得した科目について記入してください。

科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	教員免許状 種類・教科	学習成果の分析

4-1. 特別支援教育に関する科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分		科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
特別支援教育の 基礎理論に 関する科目		障害児教育論						必修
		障害者福祉論						選択
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理						必修
		知的障害者の病理保健						必修

4-2. 特別支援教育に関する科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分		科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	肢体不自由者の心理						必修
		肢体不自由者の病理保健						必修
		病弱者の心理						必修
		病弱者の病理保健						必修

4-3. 特別支援教育に関する科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分		科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育方法論Ⅰ						必修
		知的障害教育方法論Ⅱ						必修
		肢体不自由教育方法論						必修
		病弱教育方法論						必修

4-4. 特別支援教育に関する科目 ※修得した科目について記入してください。

法令上の区分		科目名称	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学習成果の分析	備考
免許状に定められることになる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚障害教育論						必修
		聴覚障害教育論						必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複障害・LD 等教育論						必修
心身に障害のある幼児・児童又は生徒についての教育実習		障害児教育実習						必修

5. 介護等体験

(施設・機関)

名称	期間 年月日・日数	学んだこと	課題	備考

6. 教育実習

(実習予定校)

学校名称		所在地
実習期間	実習教科・科目	備考
<実習の成果と課題>		

7. 障害児教育実習

(実習予定校)

学校名称		所在地
実習期間	実習内容	備考
<実習の成果と課題>		

8. 教育実習・障害児教育実習・教職実践演習担当教員評価欄 ※学生は記入しないこと

<教育実習担当教員評価欄>

<障害児教育実習担当教員評価欄>

<教職実践演習担当教員評価欄>

9. 教職関係ボランティア活動等

活動名称	活動期間	場所	活動内容	活動の成果

10. 自己評価

必要な資質能力の指標		自己評価 (※印の中から当てはまる数字を記入)		
項目	指標	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している			
授業実践に関する力量	模擬授業やゼミでのプレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、ともに成長する存在となることを目指している			
生徒とのかかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に生徒と触れ合う機会を持つとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる			

※（5:とてもよくできた、4:ある程度できた、3:どちらともいえない、2:あまりできなかった、1:できなかった）
教職課程の学習成果をもとに、項目別に自己評価を試みます（該当する数字を記入します）。